



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.46
令和7年11月 7日
文責:校長 酒井 健

◇二分の一人成人コンサートに4年生が参加しました。

11月6日(木)、けんしん郡山文化センターで、「音楽都市こおりやま二分の一人成人コンサート」が開催されました。これは、成人の二分の一を迎えた郡山市内のすべての4年生の子どもたちのために、市が開催している音楽コンサートです。演奏は山形交響楽団です。プログラムも、子どもたちが楽しんで聴くことができる工夫が散りばめられていて、あっという間の1時間でした。オーケストラの奏でる音楽にのせて、歌を歌ったり、体を動かしたり、手拍子をしたり・・・大喜びの子どもたちでした。

やはり、本物を見たり聴いたりすることは大切なんですね。音楽を聴いている時の子どもたちの笑顔、キラキラ輝く瞳がとても印象的でした。



【演奏中の撮影は禁止となっていますので始まる前にパチリ】

◇持久走記録会・・・子どもたち、頑張りました。

11月5日(水)は上学年〔4～6年生〕、6日(木)は下学年〔1～3年生〕が、学年ごとに持久走記録会を行いました。爽やかな秋晴れの中で、子どもたちの頑張って走っている姿がたくさん見られました。他の行事等と重なり、すべての学年は見ることはできませんでしたが、先生方からは、子どもたちの頑張りの様子を教えていただきました。途中で苦しくなったり、お腹が痛くなったりしながらも、自分自身を励ましてゴールを目指して走りぬいた子どもたち・・・本当にすばらしいです。

応援に駆けつけていただきました、たくさんの保護者、ご家族の皆様、子どもたちへの熱い声援、ありがとうございました。皆様の応援は、子どもたちの心にきっと届いたことでしょう。



校長のひとりごと

最近、保護者の皆様から、「学校だより、見てますよ」「校長のひとりごと・・・楽しみにしています」というお言葉をいただくことがあります。これは、とてもうれしいことであります。学校の様子、子どもたちの様子、何気ないひとりごと・・・これからも身を引き締めて、お伝えしていきたいと感じております。

今日は、「ありがとう」という言葉について感じたことを・・・！

「ありがとう」「ありがとうございました」という感謝の言葉、最近、使っていますか？ 例えば、先月の1ヶ月、私はたくさんの「ありがとうございました」を口にしました。たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいになった1ヶ月でした。この「ありがとう」という言葉は不思議な言葉ですね。相手に何かしていただいたことに対する感謝の言葉なのですが、「ありがとう」と言っている自分も幸せな気持ちになります。

心の中がほんのりと温かくなります。「ありがとう」という言葉が学校の中で、たくさん聞くことができる・・・響いている・・・

そんな学校が私の目標の一つです。すてきな言葉ですね。

